

未来に先回りする思考法

著者：佐藤航陽
出版社：ディスカバリー・トゥエンティ・ワン
(2015/8/27)

全てのイノベーションは「必要性」から始まる

電気

通信

文字

火



戦争や競争の中で、生き残り続けるために必要だったからこそ作り出された。

環境に適応するために必要な進化
=イノベーション

日本は他国からの圧力も少なく、自国の市場もそれなりの規模があり、差し迫った危機が存在しないので、イノベーションが起こる「必要性」がない

パターンが掴めるまで意図的に失敗を重ねる

物事をうまくいかせるためには、客観的なデータとして物事を見つめる必要がある

そのためには全体のパターンを把握する必要がある



物事がうまくいかない場合
→パターンを認識するために**必要な試行回数が足りていない**場合がほとんど



一回一回の成否に一喜一憂せずに、パターンと確率が認識できるまで**「実験」だと割り切って量をこなす**ことが重要。

ルールのあるところで戦わない

もし何か新しいことを始めるのであれば、先行している**「ルールメーカー」**がまだ存在していない領域を選ぶ。

ルールメーカーがいる市場

優秀な人が多く競争が激しい
逆立ちしてもルールそのものには勝てないので、永遠の2番手

ルールメーカーがいない市場

優秀な人がまだ少ないので生き残りやすい
「競争への勝利」と「市場の成長」を一石二鳥で獲得できる